



2022年2月8日

各位

会社名 日本紙パルプ商事株式会社
代表者名 代表取締役社長 渡辺 昭彦
(コード番号:8032 東証第一部)
問合せ先 執行役員 管理本部本部長
藤井 賢一郎
(TEL 03-3534-8522)

特別損失（のれんの減損損失等）の計上および通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年3月期第3四半期連結累計期間において特別損失を計上いたしましたので、お知らせいたします。

また、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年5月17日に公表した通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社の連結子会社である RADMS Paper Limited において、新型コロナウイルス感染拡大とそれに伴う経済活動の制限等による外部環境の悪化を踏まえ、今後の計画を見直した結果、当初想定されていた収益が見込めなくなったため、当第3四半期連結累計期間において同社に係るのれんの減損損失1,779百万円を特別損失として計上いたしました。

また、上記に伴い、当社は個別決算において関係会社株式評価損5,578百万円を特別損失として計上いたしました。なお、個別決算における関係会社株式評価損は連結決算上消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

2. 業績予想の修正

2022年3月期通期連結業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	一株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	9,800	9,300	9,400	687.54
今回修正予想(B)	13,500	14,000	10,000	730.11
増減額(B-A)	3,700	4,700	600	—
増減率(%)	37.8	50.5	6.4	—
(ご参考)前期実績 2021年3月期	8,896	8,948	3,649	266.92

3. 修正の理由

海外卸売事業において、本邦からの紙の輸出数量の増加や、各国事業拠点における行動制限の緩和に伴う紙・板紙の販売数量の増加に加え、需給のひっ迫による販売単価の上昇により収益が大幅に増加しております。

これらにより、「1. 特別損失の計上について」のとおり、親会社株主に帰属する当期純利益についてはのれんの減損損失計上による減少があるものの、各段階利益において当初予想を大きく上回る見込みとなったため通期業績予想を修正いたします。

なお配当金につきましては、前回予想のとおり1株当たり期末配当55円を予定しております。

(注) 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上